

# 京都精華大学

展示コミュニケーションセンター  
2019年度活動報告



# 京都精華大学

展示コミュニケーションセンター

2019年度活動報告

## 基本方針、沿革

京都精華大学ギャラリーフロールは1997年に旧大学図書館を改築して開館、1999年に博物館相当施設の指定を受け登録された。現在は、本学の教育研究活動の成果を社会に発信し、文化・芸術の教育研究活動に資する企画展覧会の実施を目的として、本学「展示コミュニケーションセンター」が運営している。

ギャラリーフロールは大学ギャラリーの特徴として、学生や教職員の研究・制作活動と密接に関連する展示発表が多くを占めているが、芸術に親しむ機会をより多くの方に提供するため、すべての方を対象に入館無料としており、大学の社会的貢献を果たす役割も担っている。

ギャラリーフロールで開催される展覧会には「企画展」と「申請展」の2種類があり、「企画展」は在学生への教育効果や社会的に有意義であると認められる展覧会として、展示コミュニケーションセンターを中心に、教職員および学内機関が連携して企画、実施している。また、「申請展」は本学の在学生や教職員、卒業生など関係者を対象に年2回の募集選考を行っている。

本学では、2016年度より各学期末に「学修成果の確認・発表週間」が設定されたほか、2017年度からは全学部・全研究科の「卒業・修了発表展」を学内で開催しており、ギャラリーフロールを含む学内展示空間の活用が期待されている。また、近年は学外において教学内容や研究成果を発表する機会も増えている。このような経緯を受けて、展示を通して全学的な学びの成長度や研究成果を可視化し、表現と社会の関係性を追求する企画展示や発表を学内外においてさらに推進していく役割として、2018年度より新たに「展示コミュニケーションセンター」が設置された。

今後、展示コミュニケーションセンターはギャラリーフロールの企画・運営だけでなく、全学的な学修成果や研究成果の発表を通じ、社会に向けて本学の取組みを積極的に提示・発信していく役割を担っていく。

## 目次

### 【概要】

基本方針、沿革	02
2019年度活動サマリー	04

### 【展覧会】

京都精華大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科3年生 プロジェクト授業成果発表 to be born	06
ときめきトかさなり	08
交換留学帰国報告展覧会 An Exhibition of Works Created Overseas by Seika's Outbound Exchange Students in 2018	10
ヒューマンライツ&リブ博物館-アートスケープ資料が語るハストリーズ	12
タイカン前期 学修成果発表2019	16
SOUNDやろうぜ	18
RAKE UP!	20
同時代学生陶芸展	24
ストラクチャー アンド サウンド -音による構造の知覚-	26
黒崎彰名誉教授と有志展	28
しずく	30
立体造形三回生秋展覧会	32
野崎奨一作品展 -セイカのせいか-	34
kyocera×seika 2019「トロポスフィア：素材が開く新しい世界」	36
トークイベント「京都市京セラ美術館リニューアルオープンについて聞く!」	39
2019年度「京都の伝統産業実習」報告展	40
みることに触れる、描くことの現在(芸術学部 洋画コース 安喜ゼミ)	42
タイカン後期学修成果発表2020	44
京都精華大学大学院1年生研究制作展	46
京都精華大学大学院芸術研究科修了制作展2020	48

### 【基本情報】

来場者数・利用案内	50
施設図面	51

## 2019年度 活動サマリー

昨年度に設置された展示コミュニケーションセンターの下、新体制となって2年目のギャラリーフロールの運営において、今年度は、学内と学外にて2つの本学主催の企画展を開催した。

前期企画展の「ヒューマンライツ&リブ博物館-アートスケープ資料が語るハストリーズ」は、1990年代初頭に、京都に設立された美術関係者によるシェアオフィスを拠点に盛り上がった、アートを通してエイズやセクシュアリティについて社会に訴える活動に着目し、当時の資料展示やその活動に参加した美術家たちによる近年の作品を展示構成した。メッセージ性の強い展示内容であったため、メディアにも多数取り上げられ、関西圏外からも多くの来場者があった。

後期企画展は、本学に関わる新進アーティストによる展覧会「RAKE UP!」をホテルアンテルーム京都にて開催した。身の回りの素材からネット上に存在するモノまで、対象をフラットにかき集め、編集することをおして、新たな視点を表現する5組のアーティスト(大八木夏生、THE COPY TRAVELERS、大東真也、NAZE、やんツー)を紹介。会期中にはミュージアム関係者が世界中から参加

するICOM(国際博物館会議)が京都で開催され、国内外の多様な来場者にアーティストやセンターの活動を紹介する好機となった。

また、新たな試みとして、本学と京セラ株式会社が連携した展覧会「トロポスフィア:素材が開く新しい世界」を京セラギャラリーにて開催。本展は、本学出身および在籍中の4名のアーティストを紹介し、「素材」をテーマとした作品を展開した。京セラ独自の技術が生み出した装飾素材「京都オパール」を制作に取り入れた作品も展示されるなど、大学と企業が連携した展覧会として好評を得た。

申請展は、授業の成果発表展示を含めた16回の展覧会を開催した。「デザイン学部ビジュアルデザイン学科3年生プロジェクト授業成果発表『to be born』」、「タイカン前期学修成果発表2019」、「タイカン後期学修成果発表2020」、「2019年度「京都の伝統産業実習」報告展」では、各授業での充実した成果が発表され、「京都精華大学大学院1年生研究制作展」、「京都精華大学大学院芸術研究科修了制作展2020」では学生の制作・研究活動の集大成となる作品が発表された。

そのほか在学生及び教職員による申請展として、「ときめきトかさなり」、「交換留学帰国報告展覧会」、「SOUNDやろうぜ」、「同時代学生陶芸展」、「ストラクチャー アンド サウンド -音による構造の知覚-」、「黒崎彰名誉教授と有志展」、「しずく」、「立体造形三回生秋展覧会」、「野崎奨一作品展 -セイカのせい-」、「みることに触れる、描くことの現在(芸術学部 洋画コース 安喜ゼミ)」など、テキスタイル、サウンドインスタレーション、陶芸、版画、華道、イラスト、洋画といった多様なメディアによる展覧会が多数開催された。

さらに、展示以外の試みとして、今年度3月にリニューアルオープンした京都市京セラ美術館のプログラムディレクターをお招きして、美術館がどのように生まれ変わるのか、新しい美術館の活動内容や建物について紹介いただくトークイベントを開催した。ゲストと参加者の質疑応答も活発に行なわれ、今後の美術館のビジョンに触れる貴重な場となった。

来年度は、明窓館の建替のため、一年間ギャラリーフロールは休館となり、本館1階のラウンジをギャラリーとし

て運用し、申請展を実施する。また、今年度と同様に学外のスペースでの企画展や、若手アーティスト支援を目的としたアートフェアへの出展など、学外に活動の場を広げ、本学及び展示コミュニケーションセンターの活動をより社会に発信していく。

申請展

京都精華大学デザイン学部  
ビジュアルデザイン学科3年生 プロジェクト授業成果発表

# to be born

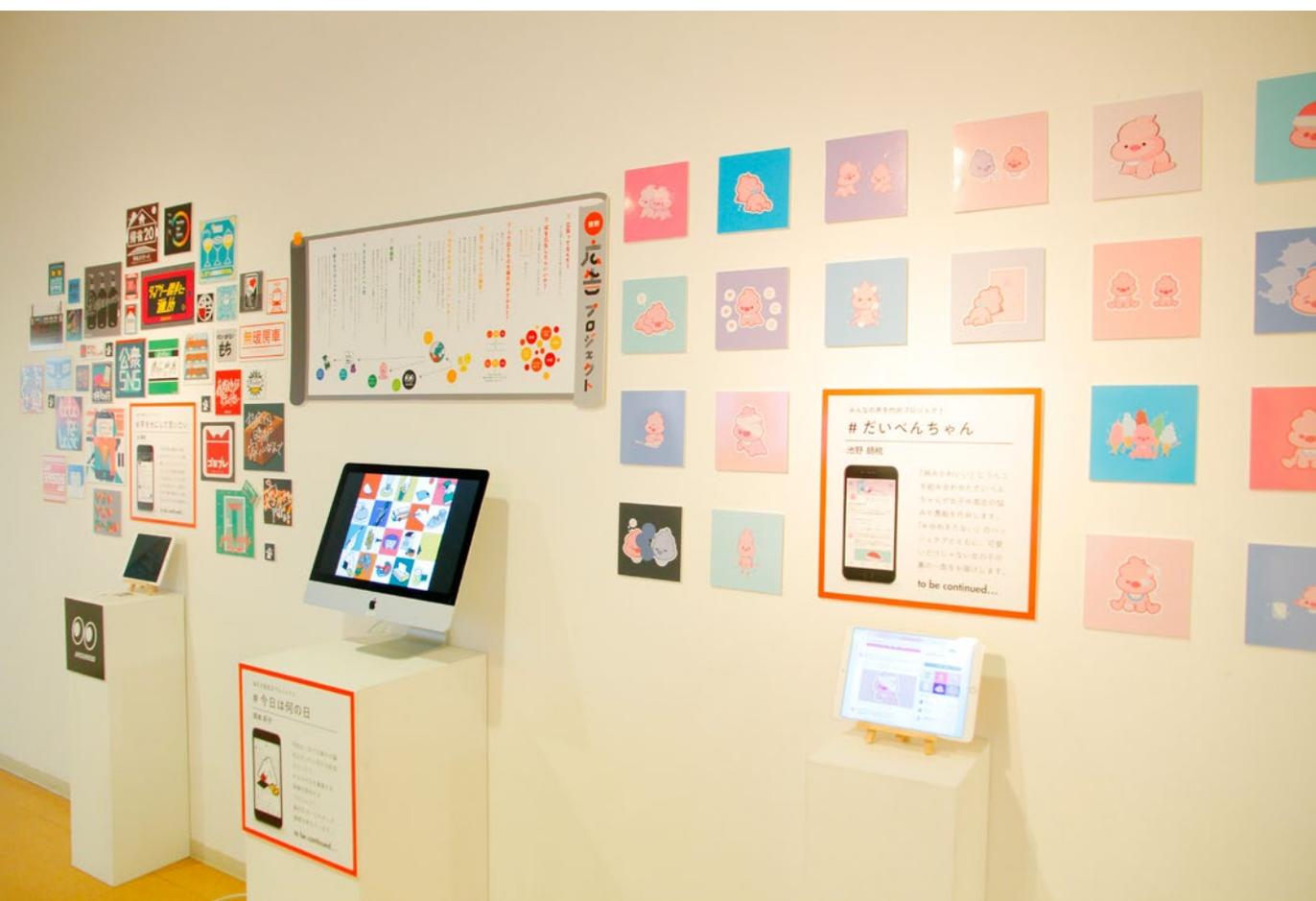
2019年4月1日[月] - 4月6日[土]

開館時間 11:00-18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 京都精華大学 デザイン学部ビジュアルデザイン学科3年生

デザイン学部ビジュアルデザイン学科のグラフィックデザインコース、デジタルクリエイションコースの学生による展覧会。模様、写真、広告、ゲーム、文字、映像など全11種のプロジェクトに分かれて制作を行ってきた3年次の授業における1年間の成果のすべてを展示。



申請展

# ときめきトかさなり

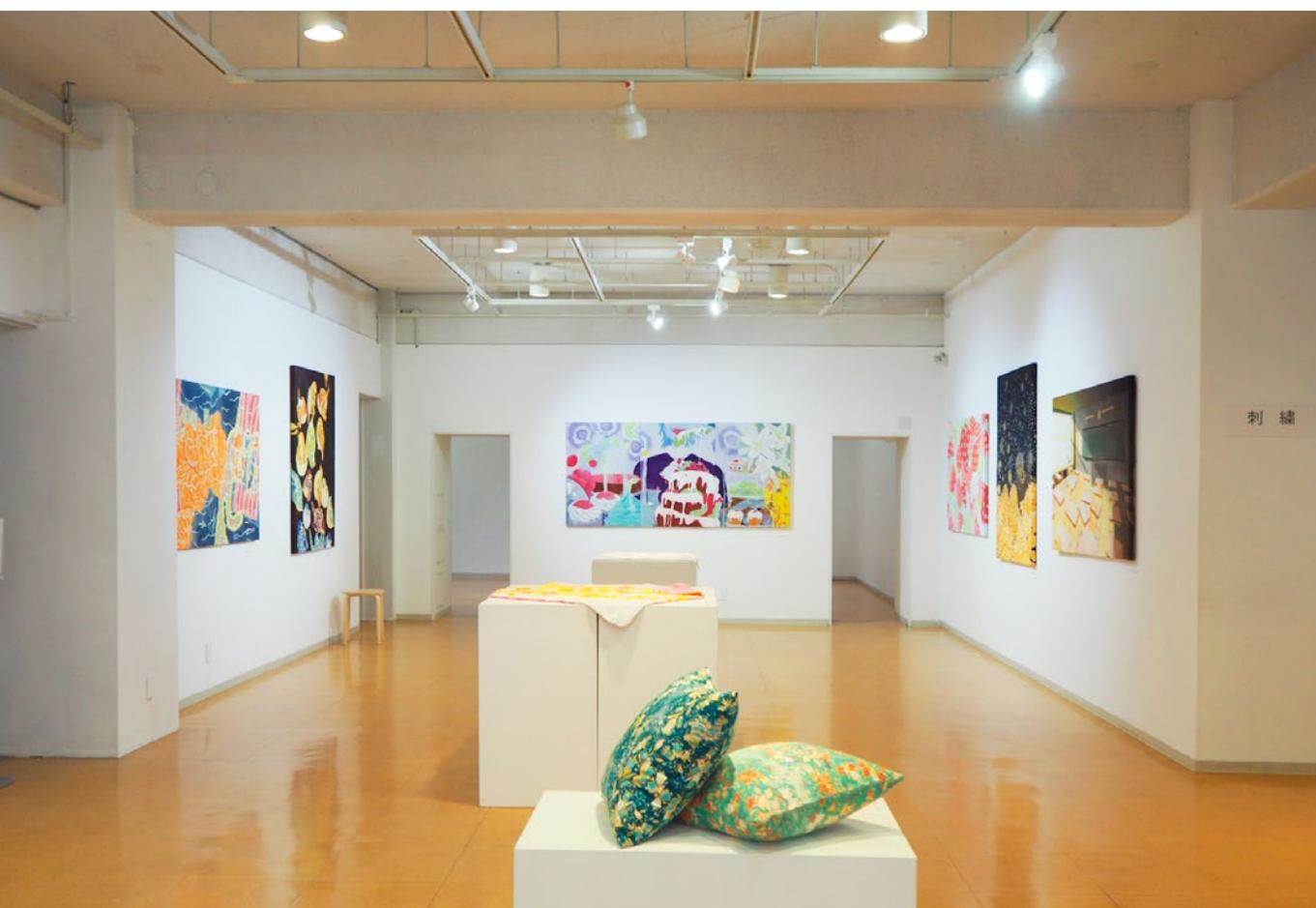
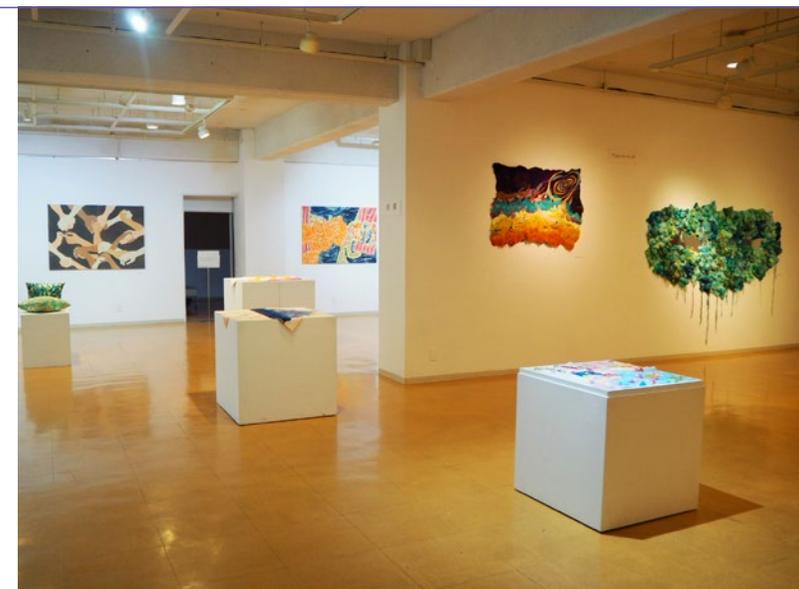
2019年4月23日〔火〕-4月28日〔日〕

開館時間 11:00-18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 京都精華大学 芸術学部  
テキスタイルコース3年生

芸術学部テキスタイルコース3年生有志メンバーによる  
成果発表展。コース課題の成果発表と学内外へのテキ  
スタイルアートの魅力発信を主な目的として、2年次の  
1年間で制作した作品1~4点を持ち寄り展示した。



申請展

# 交換留学帰国報告展覧会

An Exhibition of Works Created Overseas  
by Seika's Outbound Exchange Students in 2018

2019年5月9日[木] - 5月16日[木]

開館時間 12:00 - 18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフール

主催 京都精華大学国際教育センター

2018年度に本学から海外の提携校に交換留学生として派遣された学生達が、留学先での課題や自主制作した作品を展示した。



## 関連イベント

交換留学生によるトークイベント

会場 京都精華大学iC-Cube<明窓館M-101>

テーマ「留学先での授業の内容や体験談」

日時 5月9日[木] 12:15-12:50

テーマ「留学準備でやっておくこと、海外での生活について」

日時 5月13日[月] 12:15-12:50

## 留学先

サンフランシスコアメリカ California College of the Arts (CCA)

イギリス・ロンドン Camberwell College of Arts

イギリス・ロンドン Central Saint Martins College of Art and Design

スコットランド・グラスゴー The Glasgow School of Art

フィンランド・トゥルク Turku University of Applied Sciences

フランス・パリ École nationale supérieure d'architecture de Paris-Malaquais

ドイツ・カッセル University of Kassel School of Art and Design



# ヒューマンライツ & リブ博物館

—アートスケープ資料が語るハストリーズ

2019年 6月14日[金]—7月12日[金]

開館時間 11:00—18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

出展作家 小山田徹+香月/ブブ・ド・ラ・マドレーヌ/  
藪内美佐子/渡部睦子/  
DIAMONDS ARE FOREVER/  
#そして私は誰かと踊る  
(旧アートスケープ資料編集プロジェクト、資料展示)

主催 京都精華大学

協力 オランダ王国大使館/  
のせでんアートライン妙見の森実行委員会

監修 山田創平(京都精華大学人文学部准教授)

展示ディレクション

石谷治寛  
(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員)

イベントモデレーター

あかたちかこ(京都精華大学非常勤講師)



グラフィックデザイン  
yusuke mimasu  
design

担当

伊藤まゆみ  
(京都精華大学  
展示コミュニケーション  
センター特任講師)

関連イベント

オープニングイベント

トーク「アーカイブってなんだろう?  
～アートスケープ・アーカイブから考える～」

日時: 6月14日[金] 16:00-17:00

出演: あかたちかこ、石谷治寛、  
ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、山田創平

会場: 京都精華大学 ギャラリーフロール

トーク終了後、レセプション

会場: 京都精華大学iC-Cube <明窓館M-101>

トークイベント

「ウーマンズダイアリーってなんだっただらうミーティング」

日時: 6月22日[土] 15:00-18:00

ゲスト: 城田亮介、鈴木洋子、塚本まこと、山元彩乃

進行: あかたちかこ

会場: 京都精華大学iC-Cube <明窓館M-101>

トークイベント

「星見るひとたちと出会う旅  
—アートスケープ、アムステルダム、そして能勢妙見山へ—

日時: 6月29日[土] 14:00-16:00

出演: 渡部睦子、山田創平

会場: 京都精華大学iC-Cube <明窓館M-101>

ライブイベント

「フロールに捧げる3つのエクスキー」

日時: 7月6日[土] 18:30開場 19:00開演

会場: 京都精華大学 ギャラリーフロール

Act.1 ゴーダ企画 presents ゴシックモダン「妖花アルラウネ」

出演: 合田有紀/野村香子/辻本佳

構成&演出: シモーヌ深雪

Act.2 DIAMONDS ARE FOREVER presents シャンソンライブ  
「倒錯のギロチンシアター」

出演: シモーヌ深雪

Act.3 DIAMONDS ARE FOREVER presents LIVE  
「Decades~Like Si-Fi Magazine (re-make, re-mix)」

出演: 山中透 (DJ LaLa)



2019年度前期企画展として開催。1990年代初頭に、京都に設立された美術関係者によるシェアオフィス「アートスケープ」を拠点に、アートを通してエイズやセクシュアリティについて社会に訴える活動が盛り上がったことを紹介し、さらに、その活動に参加した美術家たちによる近年の創作をとりあげた。

「ハストリーHerstory」という言葉は、従来の「歴史History」が、多くの場合「彼his」の視点から語られてきたのに対し、「彼女her」の立場からも過去を語り直すべきだとの主張から1970年代に生まれた造語である。

本展では、「ハストリー」を、誤用を恐れず広く捉え、既存の性を越境しようとする人々の物語として振り返り、四半世紀前の「彼女たち」から発せられた声を通して、人権と人間性の解放(リベレーション)について考え直した。

なお、本展には、森美術館で2018年度に行われた「MAMリサーチ006:クロニクル 京都1990s:ダイヤモンド・アー・フォーエバー、アートスケープ、そして私は誰かと踊る」のための調査で明らかになった資料や内容も展示した。



# タイカン前期学修成果発表2019

2019年7月24日[月]ー7月28日[日]

開館時間 11:00ー17:00

(7月27日[土]、28日[日]のみ10:00開館/  
最終日のみ16:30閉館)

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 京都精華大学 芸術学部造形学科  
1年次共通教育体幹教育

芸術学部にて2017年度より新たに始まった1年次共通教育のひとつ「体幹教育」。2019年度前期は「視覚のクリエイション」(絵画基礎/前期前半)と「生活のレクリエーション」(工芸基礎/前期後半)という2つのカリキュラムに、芸術学部1年生全員が挑んだ。描きかたのテクニックのみにはとられない、様々な平面表現のアプローチ、「つくる・つかう・かざる」というキーワードから生活と工芸の関わりを再考し、場を創造すること、体幹教育における、多岐にわたる学生の試みの成果物を展示した。



申請展

# SOUNDやろうぜ

2019年8月23日[金]ー8月31日[土]

開館時間 11:00-18:00 休館日 8月25日[日]

出展作家 上田真平/具志堅裕介/カズヒデ/

Yüiho Umeoka/

RAKASU PROJECT.(落鬼子)/

はやぶさもも/kubotalian/SOUND野郎ズ

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 SOUND野郎ズ

SOUND野郎ズは、ポピュラーカルチャー学部の学生を対象に、「SOUNDやろうぜ」と題したワークショップを放課後に開催している。本展ではワークショップ「SOUNDやろうぜ」の活動紹介として、学生たちによる成果物や記録映像を中心に展示し、ポピュラーカルチャー学部内で通常の音楽活動とは異なる視点で活動している学生や教員、さらに音に関わる活動をしている学外の作家を招待した。

数人規模のワークショップから学内の動き、そして学外の実践へと展示する領域を広げ、音を使った表現の多様な側面を示すことで、鑑賞者が音を使った表現の楽しさや面白さに気づき、「自分もSOUNDやりたい!」と感ずることを目指した。



関連イベント

クロージングイベント出品作家と

京都精華大学の学生を交えたライブイベント

日時 8月31日[土]14:00-18:00

会場 京都精華大学ギャラリーフロール 2F

入場料 自由料金制



## RAKE UP!

2019年 8月30日[金] - 9月16日[月・祝]

開館時間 11:00-21:00

会場 HOTEL ANTEROOM KYOTO I  
Gallery9.5  
(京都市南区東九条明田町7番)出展作家 大八木夏生 / THE COPY TRAVELERS /  
大東真也 / NAZE / やんツー

主催 京都精華大学

## 関連イベント

## オープニングトーク&amp;レセプション

8月30日[金] 16:30-18:30

出演 大八木夏生 / THE COPY TRAVELERS /  
大東真也 / NAZE / やんツー

会場 HOTEL ANTEROOM KYOTO

## クロージングトーク&amp;BAR

日時 9月16日[月・祝] 16:30-18:30

出演 ウスビ・サコ(京都精華大学学長) / 大八木夏生 /  
THE COPY TRAVELERS(加納俊輔 / 上田良)  
大東真也 / NAZE / やんツー /

DJ Kazumichi Komatsu

会場 HOTEL ANTEROOM KYOTO I ANTEROOM BAR

## メインビジュアル協力

池垣タダヒコ(京都精華大学芸術学部教授)

## グラフィックデザイン

松見拓也

## 企画

伊藤まゆみ(京都精華大学展示コミュニケーションセンター特任講師)

2019年度後期企画展として開催。RAKE(レーキ)とは落ち葉をかき集めたり、土をならすための道具である「熊手」を意味し、RAKE UPは「かき集める」、「すくい上げる」といった行為を指す。

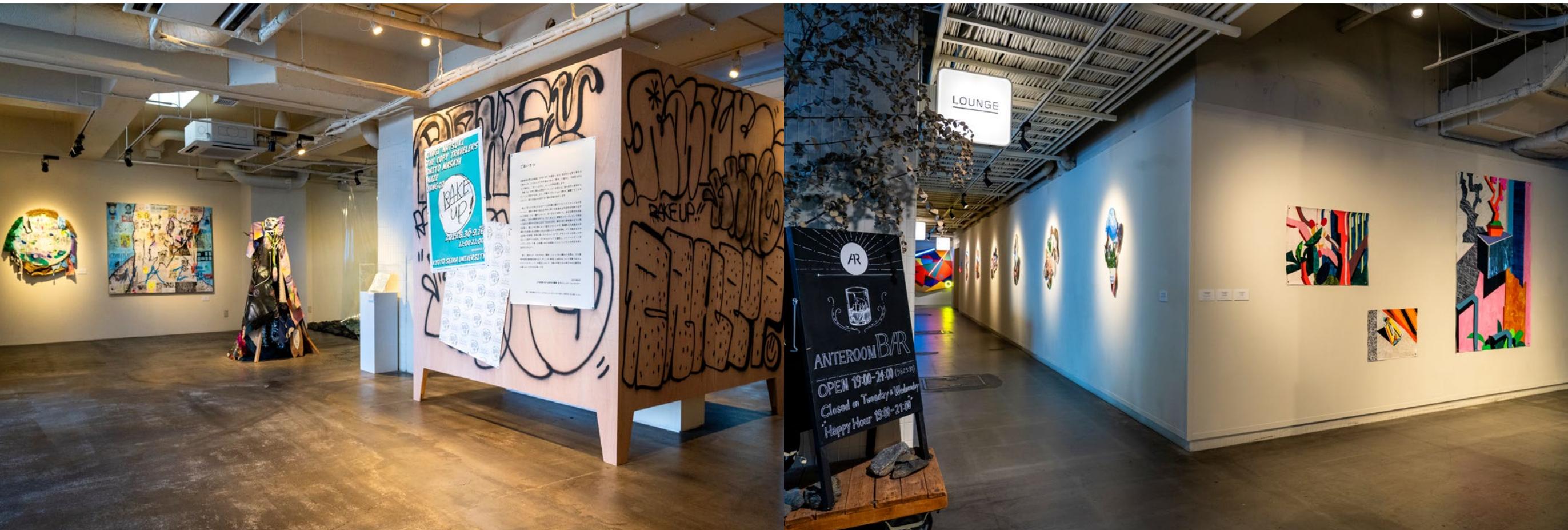
本展では、本学に関わる新進アーティストの中から、身の回りの素材からネット上に存在するモノまで、対象をフラットにかき集め、編集することをとおして、新たな視点を表現する5組の作家を紹介した。

路上で見つけた気になるモチーフを写真に撮りプリントアウトしたものをベースに、複数の素材や技法を同時に用いて重層的な平面作品を創り出す大八木夏生。コピー機やスキャナ、カメラなどを用いて、身近な素材を自由に採取し、3者の即興的なやりとりをとおして、複製やコラージュという手法の可能性を模索するTHE COPY TRAVELERS。身近にある飲料用のガラス瓶を収集し、窯に入れて熱によって変容させることで、無機質な工業製品を有機的で生命感のある形態へと生まれ変わらせる大東真也。ゴミや廃材などの收拾物や印刷物、写真に描いたドローイングや、グラフィティを用いた作品などを制作するNAZE。デジタルメディアを基盤に、ストリートアートやパブリックアート等、公共圏における表現にインスパイアされた作品を多く制作するやんツー。

彼ら・彼女らが、それぞれの「熊手」によってかき集めた世界が、その意味や記憶、関係性を揺さぶり、今この「表現」とは何かについて考察する機会とした。本展をとおして、5組の作家たちの伸びやかな表現を観客にお楽しみいただいた。



本展のタイトル「RAKE UP!」のきっかけとなったドローイング、多様な素材をかき集める道具としての「熊手」(RAKE)という本展の出品作家を結ぶキーワードから着想して、京都精華大学教員の池垣タダヒコが即興的に描いたもの。



# 同時代学生陶芸展

2019年9月6日[金] - 9月8日[日]

開館時間 11:00 - 18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 同時代学生陶芸展実行委員会

参加大学 京都精華大学 / 京都市立芸術大学 / 京都造形芸術大学



### 関連イベント

トークショー「キョウ、KYOTO、トウゲイ。」

日時 9月7日[土] 13:00-

出演 中村謙司(京都精華大学) /

高柳むつみ(京都市立芸術大学) /

大前史(京都造形芸術大学)

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

### 作品投票、解説

日時 9月8日[日] 13:00-

### 学生による陶器市

会期中開催



「同時代学生陶芸展」は、京都で陶芸を学ぶ学生の交流の場として毎年開催され、今年で第10回目を迎えた。例年会場にしてきた元・立誠小学校の改装に伴い、2017年度は堀川御池ギャラリーで開催し、2018年度から京都精華大学ギャラリーフロールで開催している。

展示・関連企画による交流を通じて、いまの学生の視点から陶芸の特異性を考えるための企画となった。



申請展

Structure and Sound -Perception of Structure by Sound  
 ストラクチャー アンド サウンド  
 -音による構造の知覚-

2019年9月13日[金]-9月29日[日]

開館時間 11:00-18:00 休館日 火曜日/水曜日/9月22日[日]

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

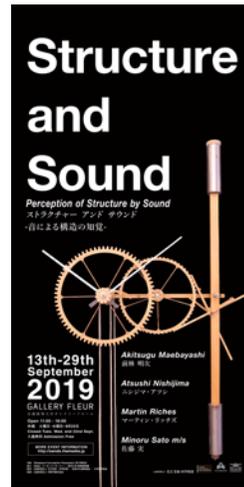
出展作家 前林明次/ニシジマ・アツシ/マーティン・リッチズ/佐藤 実

主催 Obsession Conception Possession 実行委員会

協力 20202(ツーオーツーオーツー)、東京大学 駒場博物館

助成 公益財団法人花王芸術・科学財団/芸術文化振興基金/大和日英基金

後援 公益社団法人京都市観光協会



音の背後にある世界を構造的に見出していくというコンセプトでサウンドアートを探究的に捉え直す試み。展覧会では、関西初紹介となるイギリス人美術家のマーティン・リッチズ氏と、日本の3作家によって、異なるアプローチで制作された、各作家の作品世界を展開し、作品の根幹をなす構造と音の関係から世界を捉え直す機会とした。

関連イベント

オープニングライブ

Sound and Structure Live performance at Soto

日時 9月16日[月・祝] 19:00開場 19:30開演

出演 前林明次/ニシジマ・アツシ/マーティン・リッチズ/佐藤 実

料金 予約2,000円 当日2,500円 学生1,500円

会場 外(京都市左京区鹿ヶ谷法然院西町18)

前林明次トーク

Akitsugu Maebayashi talk

"Topography and Soundscape"

日時 9月21日[土]15:00-

ゲスト 佐藤守弘(本学教員/視覚文化論)

会場 京都精華大学ギャラリーフロール

マーティン・リッチズ アーティストトーク

Martin Riches artist talk "structure and art"

日時 9月27日[金]15:00-

ゲスト 古屋俊彦(美術家/言語学)

通訳 浦江由美子

会場 京都精華大学ギャラリーフロール

クロージングトーク

Closing talk "sound, art, structure"

日時 9月28日[土]15:00-

出演 前林明次/ニシジマ・アツシ、

マーティン・リッチズ/佐藤実/藤本ゆかり(キュレーター)

ゲスト 川崎弘二(電子音楽研究)

通訳 浦江由美子

会場 京都精華大学ギャラリーフロール

# 黒崎彰名誉教授と有志展

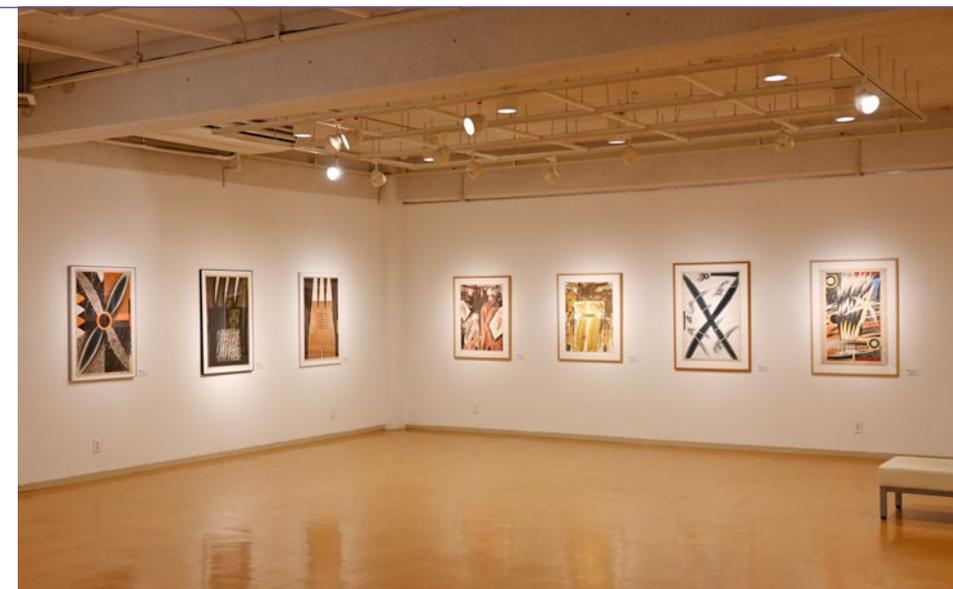
2019年10月21日[月] - 10月29日[火]

開館時間 10:00-18:00 休館日 10月27日[日]

会場 京都精華大学 ギャラリーフール

主催 京都精華大学 版画専攻卒業生有志

2019年5月14日に逝去された名誉教授・黒崎彰先生の長年のご尽力に感謝し企画。黒崎先生の作品を中心に、ご指導いただいた木版画ゼミ生の作品も同時に展示した。



# しずく

2019年11月8日[金],11月9日[土]

開館時間 10:00-17:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 京都精華大学 嵯峨御流華道同好会

自然の循環の一部である植物を使ったアート、いけばな。つぼみだった花も美しく咲き、やがて枯れて土に戻る。そんな命の移ろいに心を動かされ、日々作品を作っている。その作品は大きな地球の循環の中のほんの小さな水滴の様であると考え、タイトルを「しずく」とつけた。京都精華大学華道同好会は毎年11月初旬に展覧会を開いており、今年で22回目となった。



申請展

# 立体造形三回生秋展覧会

2019年11月13日[水] - 11月18日[月]

開館時間 11:00-18:00 休館日 11月17日[日]

会場 京都精華大学 ギャラリーフール 1F

出展作家 岩瀬海/大穂航平/柴垣めぐみ/高宮麻理乃/鐵羅祐/  
布藤喜帆/堀川諒人/安井響栄

主催 京都精華大学 芸術学部立体造形コース

芸術学部立体造形コースの三回生総勢8名による展覧会。前期での授業で制作した作品を中心に成果発表の場として企画された。8名は基本的に自由課題で制作を行っており、テーマもそれぞれに好きな事に取り組んでいる。扱う素材も鉄、石膏、石、布、紙など多岐にわたり個性豊かな立体作品が数多く集結した。奔放さや快活さを肌で感じられる展覧会となった。



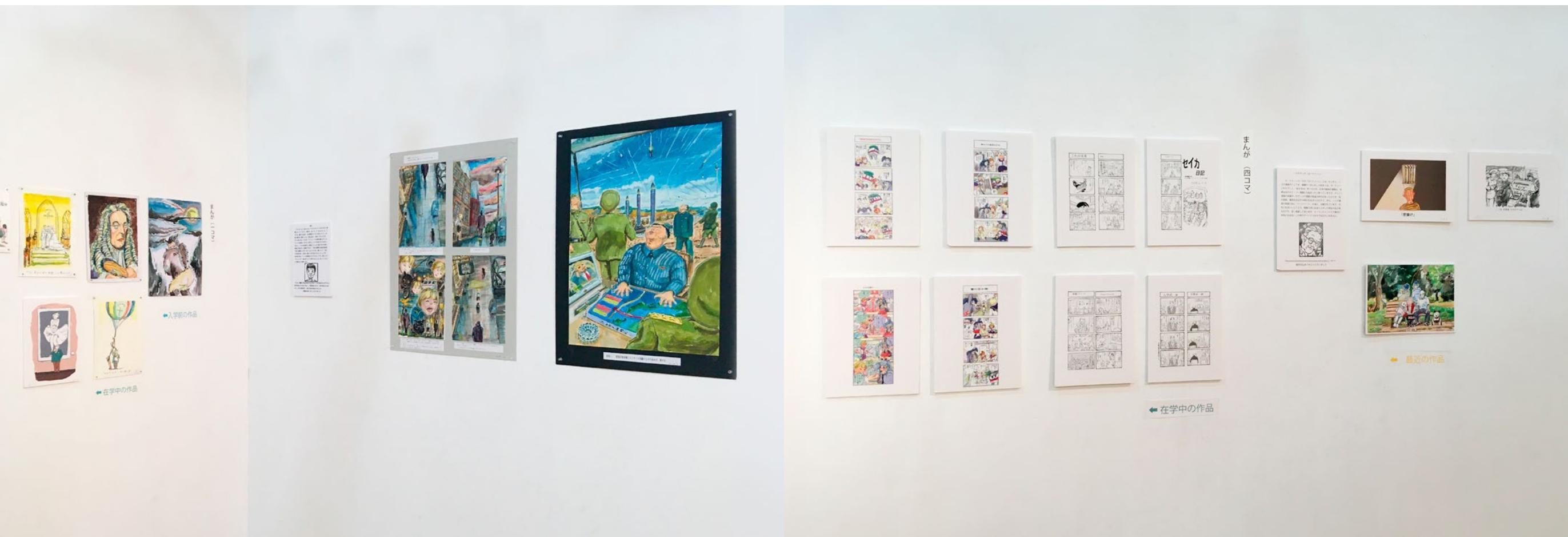
# 野崎奨一 作品展 —セイカのせいか—

2019年11月13日[水]—11月18日[月]

開館時間 11:00—18:00 休館日 11月17日[日]  
会場 京都精華大学 ギャラリーフロール2F  
主催 野崎奨一 (マンガ学部カートゥーンコース4回生)



マンガ学部カートゥーンコース、2016年度社会人入学生、野崎奨一(のぎきょーいち、67歳:出品時)の作品展。副題『セイカのせいか』(精華の成果)が示すように、社会人として40余年、絵と関係ない生活をしてきた人物が、退職後、絵を一から習い始め、どれほどの成果があったか、4年間の大学生活の総括を目指した。このため、総花的ではあったが、絵の学習過程の各分野(デッサン、クロッキー等)の、入学前、入学後、直近の作品が揃った。来場者の絵の学習の参考になること、お世話になった先生方への感謝の気持ちを伝えることも企画意図とした。



## 企画展

kyocera x seika 2019

「トロポスフィア：  
素材が開く  
新しい世界」

2019年 11月15日[金] - 12月15日[日]

**休館日** 12月1日[日]**開館時間** 10:00 - 17:00**出展作家** 小出麻代/山城優摩/  
アルベルト・ヨナタン/ロサナ・リオス**会場** 京セラギャラリー(京都市伏見区竹田鳥羽殿町  
6番地京セラ本社ビル1階)**主催** 京都精華大学、京セラ株式会社**共催** 京都市**後援** 京都新聞/KBS京都**グラフィックデザイン**

塩谷啓悟

**企画**

小松敏宏(京都精華大学芸術学部教授)

**企画協力**

伊藤まゆみ(京都精華大学展示コミュニケーションセンター特任講師)

京セラ株式会社と連携し、本学出身アーティストによる展覧会を京セラギャラリーにて開催。トロポスフィアとは地球を覆う大気の層のひとつで、高度0kmの地表から約11kmの成層圏の間に位置する大気層「対流圏」を指す。本展が、芸術のジャンルや国籍、企業と大学を超えた対流になればと期待が込められた。手仕事と既製品の混合によるインスタレーション(小出)、MDFやFRPによる抽象的オブジェクト(山城)、複数のセラミックパーツによるインスタレーション(ヨナタン)、手染めしたファブリックによるインスタレーション(リオス)というように、素材や技法の実験を重視した作品づくりを手がけてきた作家達が展示を行なった。また、京セラ独自の技術により生み出された装飾素材「京都オパール」を取り入れた作品も展示された。本展では、企業と大学、アーティストとの連携、京都オパールをはじめとする複数の素材が展示空間で入り混ざることで生まれる新しい表現の世界が提示された。

**関連イベント****おかげんたと出品作家が語る現代アート**

日時 11月26日[火] 18:00-19:00

出演 おかげんた(タレント/アートプランナー)

会場 京セラギャラリー

参加費 無料





トークイベント

## 京都市京セラ美術館 リニューアルオープンについて聞く!

2020年1月21日【火】 18:15-19:30

**ゲスト** 土屋隆英  
(京都市京セラ美術館リニューアル準備室  
展覧会プログラムディレクター)

**モデレーター** 伊藤まゆみ  
(京都精華大学  
展示コミュニケーションセンター特任講師)

**会場** 京都精華大学iC-Cube〈明窓館M-101〉

**主催** 京都精華大学展示コミュニケーションセンター

京都市京セラ美術館リニューアル準備室展覧会プログラムディレクターの土屋隆英氏を迎え、美術館のパンフレットやホームページを参照しながら、新しい美術館のビジョンや建物について等詳しくお話いただいた。参加者からの多数の質問にもお答えいただき、これからの美術館の活動について期待が高まる場となった。



# 2019年度 「京都の伝統産業演習」 報告展

2019年11月27日[水] - 12月9日[月]

開館時間 11:00 - 18:00 休館日 日曜日

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター

関連イベント

実習生トーク

日時 11月27日[水] 10:40 - 12:10

会場 京都精華大学 黎明館1階 L-101

京都精華大学では1980年より約40年にわたり、夏期の約2週間、京都の伝統産業に携わる工房・企業の現場に弟子入りして学ぶ「京都の伝統産業演習(学外実習)」プログラムを実施している。2019年度も染織、陶磁器、和紙、木工芸、金工芸、文化財修復などの様々な分野の工房・企業16社で、芸術学部・デザイン・マンガ学部の3・4年生30名が演習を行い、成果発表報告展示を行なった。

協力(演習先・順不同)

- 【綴織】細見綴織工房【京友禅】(株)千總【草木染組紐】(有)藤三郎紐
- 【染色】染司よしおか【和紙】手漉き造紙工房 風空路
- 【陶磁器】澤村陶哉工房/竹中浩工房【陶磁器・絵付け】真葛焼 宮川香齋
- 【漆工芸】好謙漆工房【木工芸】中川木工芸 比良工房【京象嵌】(株)川人象嵌
- 【銙金具】(株)森本銙金具製作所【京表具・文化財修復】(株)岡墨光堂
- 【京造園】造園 植治【お香】(株)松榮堂【茶筒】開化堂



# みることに触れる、描くことの現在 芸術学部 洋画コース 安喜ゼミ

2019年12月18日[水] - 2020年1月6日[月]

開館時間 10:00 - 18:00 休館日 日曜日、12月29日[日] - 2020年1月5日[日]

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

出展作家 東 完治 / 工藤千夏 / 原 美菜 / 関 孔太郎 / 大石いずみ /  
朱 泓宇 / 岡田 文 / 松宮慧美 / 望月さやか / 山下真由 / 岩下優香

主催 京都精華大学 芸術学部洋画コース安喜ゼミ



芸術学部洋画コース安喜ゼミによる展覧会。出品した11名は、90年代後半に生まれ、電子技術の展開とともに情報が交錯する世界の中で成長した。彼ら・彼女らは、肉体を携えて生きる現実との狭間にもどかしさを抱えながら、それぞれの方法で「みる」ことに向き合い、物質をとめない「描く」、「触れる」ことによって信じられるものを手繰り寄せている。本展は、合理性や流利的個性とはかけ離れたかに見える「絵画的思考」の可能性が、むしろ未来への大切なツールとして新鮮に開示されることを願い企画された。



申請展

## タイカン後期学修成果発表2020

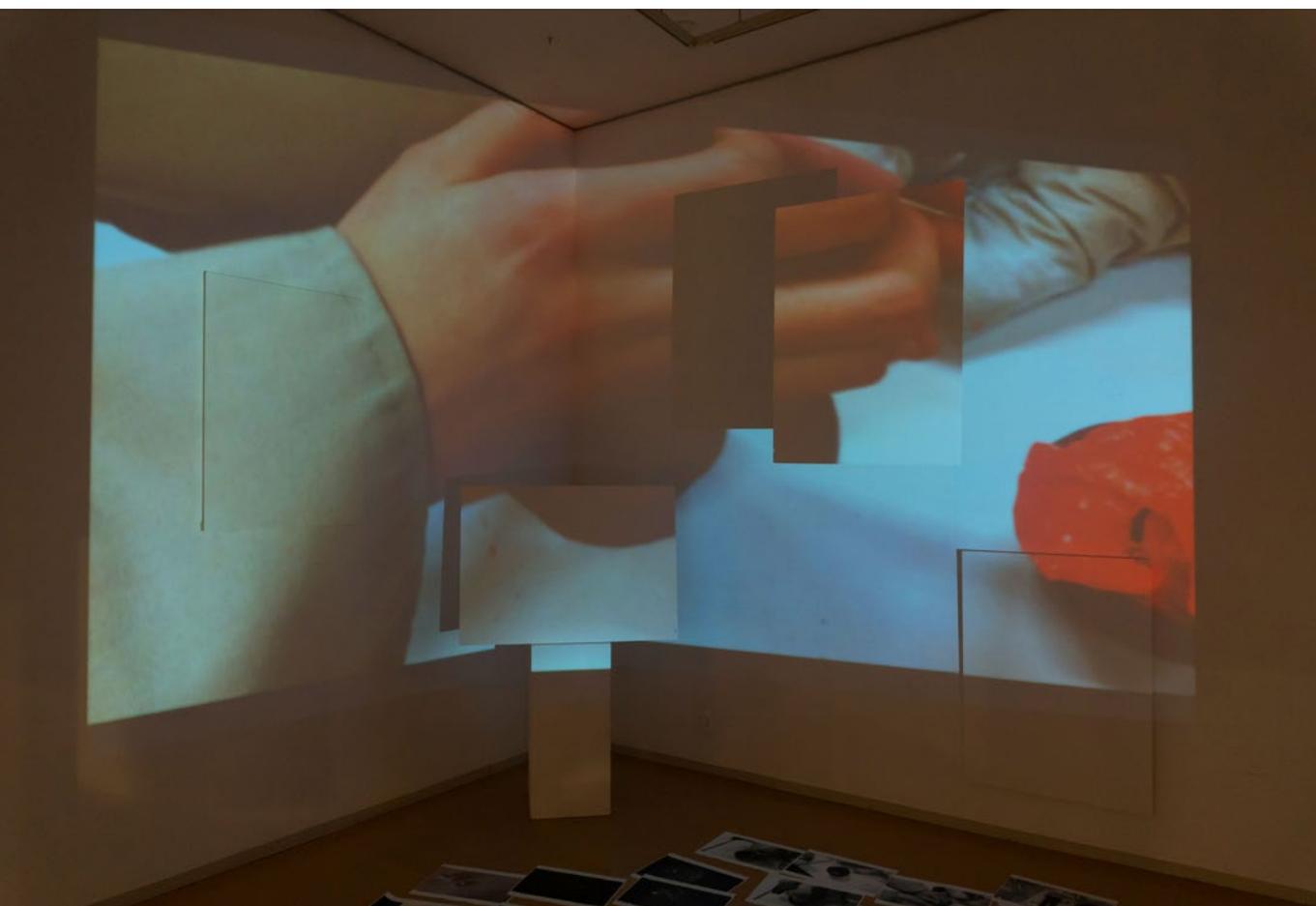
2020年1月22日[水] - 1月24日[金]

開館時間 11:00 - 17:00 (最終日のみ16:30閉館)

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 京都精華大学 芸術学部造形学科  
1年次共通教育 体幹教育

芸術学部で2017年度より新たに始まった1年次共通教育のひとつ「体幹教育」。本年度後期は「表現のバリエーション」(デザイン基礎/後期後半)の成果を展示した。「うつす」というキーワードを元にした様々な課題を通して、複製や組み合わせを使った表現の多様性を学び、最終課題として、本展示会の展示プランニングからインストール作業までを学生自身が主導して行った。多岐にわたる学生の成果物、そして展示方法のバリエーションを発表した。



# 京都精華大学大学院1年生研究制作展

Kyoto Seika University 1st Year Graduate Student Show

2020年1月28日[火] - 2月1日[土]

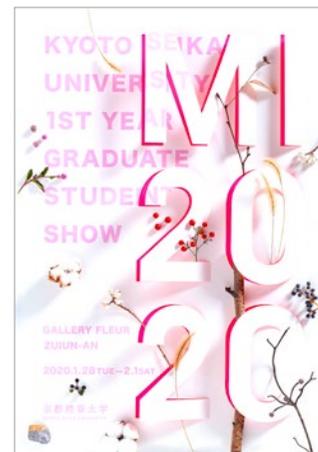
開館時間 10:00 - 17:00 (会期中無休)

会場 京都精華大学ギャラリーフロール / 瑞雲庵 (京都市北区上賀茂南大路町62-1)

主催 京都精華大学大学院芸術研究科 / デザイン研究科 / マンガ研究科

協力 公益財団法人西枝財団

大学院芸術研究科、デザイン研究科、マンガ研究科の1年生がギャラリーフロールと瑞雲庵を会場に展示を行なった。ギャラリーフロールでは、各研究科から、本会場での展示を希望した25名が参加。「企画プロジェクト演習」での授業をととして、各自の作品プランを深めたほか、広報物の作成や展示プランの検討など、展覧会を開催するために必要な様々な要素を学び、一年間の研究・制作の成果を発表した。



### 関連イベント

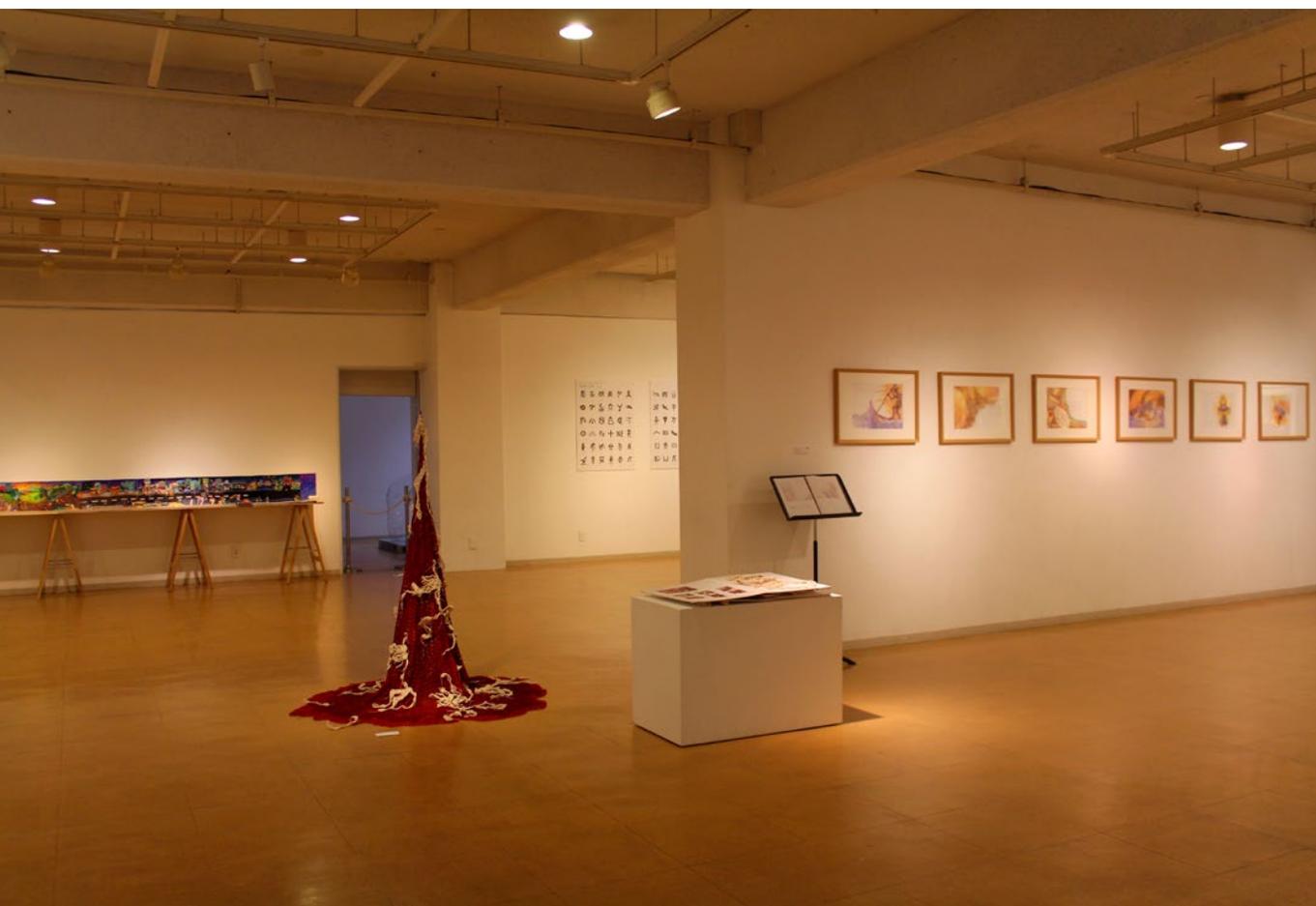
出品者による公開プレゼンテーション

日時 1月31日[金] 10:00 - 12:00

会場 京都精華大学ギャラリーフロール

日時 1月31日[金] 13:30 - 15:30

会場 瑞雲庵



# 京都精華大学大学院 芸術研究科 修了制作展2020

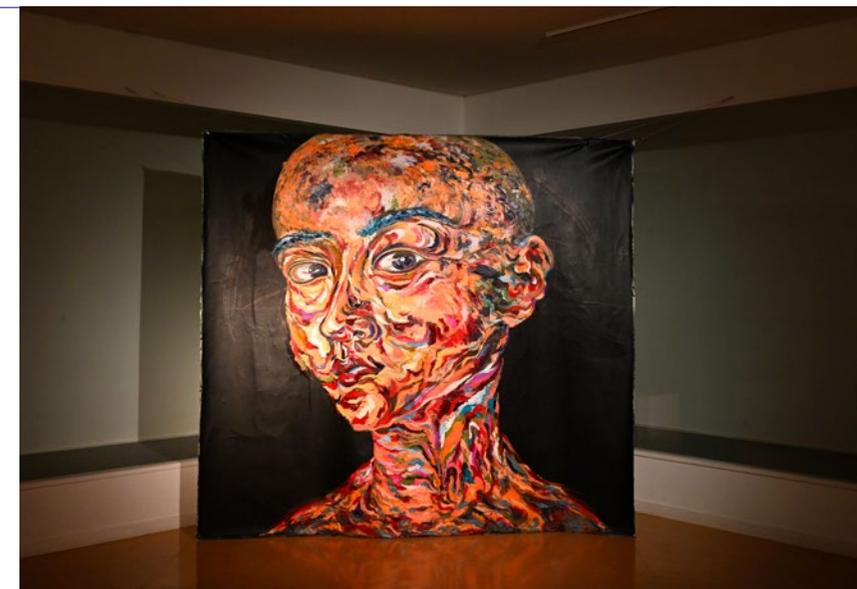
2020年2月12日[水] - 2月16日[日]

開館時間 10:00 - 17:00 (最終日のみ16:30閉館)

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

主催 京都精華大学大学院芸術研究科

「京都精華大学展2020 ~卒業・修了発表展~」における大学院芸術研究科の展示。大学院での二年間の研究論文・制作の発表の場として、日本画、洋画、立体造形、染織、版画、映像、各領域の修了生がその成果を発表した。



## 2019年度来場者数

### 2019年度 ギャラリーフロール来場者数

展覧会名	来場者数
京都精華大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科 3年生 プロジェクト授業成果発表 to be born	303
ときめきトカサナリ	225
交換留学帰国報告展覧会 An Exhibition of Works Created Overseas by Seika's Outbound Exchange Students in 2018	170
ヒューマンライツ&リブ博物館 -アートスケープ資料が語るハストリーズ	973
タイカン前期 学修成果発表2019	435
SOUNDやろうぜ	161
同時代学生陶芸展	126
ストラクチャー アンド サウンド -音による構造の知覚-	296
黒崎彰名誉教授と有志展	520
しずく	177
立体造形三回生秋展覧会	184
野崎奨一作品展 -セイカのせいか-	153
2019年度「京都の伝統産業実習」報告展	296
みることに触れる、描くことの現在 (芸術学部 洋画コース 安喜ゼミ)	304
タイカン後期学修成果発表2020	111
京都精華大学大学院1年生研究制作展	270
京都精華大学大学院芸術研究科修了制作展2020	800
年間合計	5504

### 2019年度 その他展示・イベント 来場者数

展覧会名	来場者数
RAKE UP! 会期中宿泊者:2431 芳名帖記入者:254	
kyocera×seika 2019 「トロポスフィア:素材が開く新しい世界」	2579
トークイベント「京都市京セラ美術館 リニューアルオープンについて聞く!」	20

## 利用案内



## GALLERY FLEUR

京都精華大学ギャラリーフロール

京都精華大学 明窓館1・2階の一部  
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

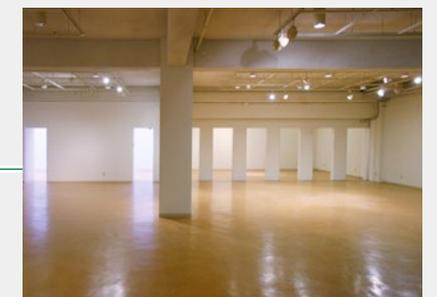
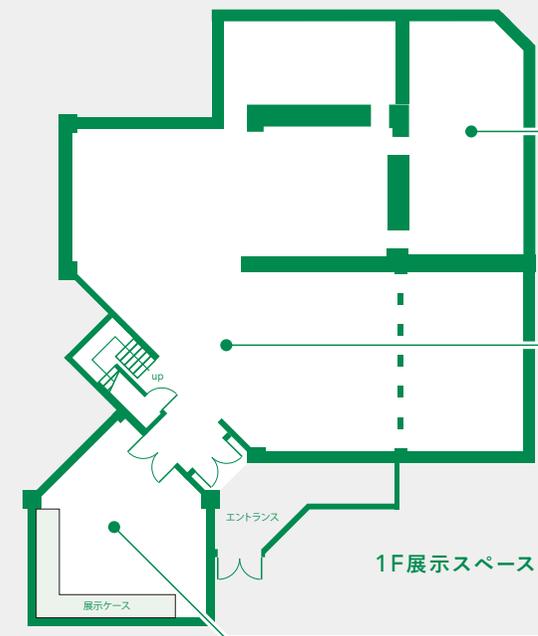
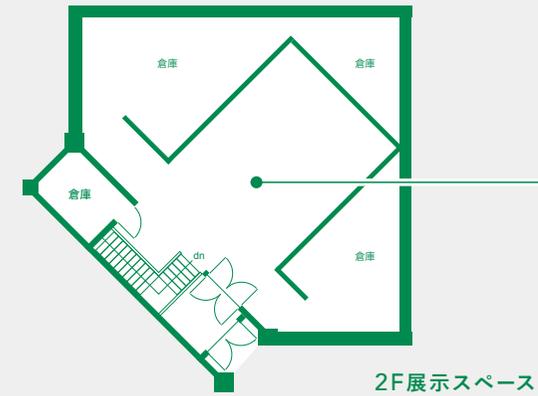
**開館日** 展覧会開催期間  
**休館日** 日曜日・祝日・大学が定めた日  
**開館時間** 10:00-18:00(展覧会により異なる)  
**入場料** 無料

**お問い合わせ**  
研究推進グループ ギャラリーフロール 担当  
京都精華大学 本館2階  
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137  
**TEL** 075-702-5263  
**FAX** 075-722-5440  
**E-MAIL** fleur@kyoto-seika.ac.jp



□ 叡山電鉄鞍馬線「京都精華大前」下車  
□ 地下鉄烏丸線「国際会館」下車、3番出口よりスクールバス  
※ 駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

## 施設図面



京都精華大学 展示コミュニケーションセンター  
2019年度活動報告

編集 伊藤まゆみ(京都精華大学展示コミュニケーションセンター)

デザイン 加瀬部敏志

撮影 石谷治寛(p13-15)、松見拓也(p20-23)、表 恒匡(p36-38)

発行 京都精華大学  
〒606-8588京都市左京区岩倉木野町137  
[www.kyoto-seika.ac.jp/](http://www.kyoto-seika.ac.jp/)

発行日 2020年3月25日

